

恋ぬ花

本調子

工	五	工	尺	上	四	老	尺	合	合	尺	工	五	工	尺	上
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	老	尺	合	合	尺	工	尺	工	合	尺	工	五	工	尺	尺
				に	わ	や									
								ゆ	ち	ふ	ゆ				

工	尺	工	上	四	老	上	合	上	尺	工	五
				い	ん	み	や	は	ー	な	さ

工	尺	上	合	尺	上	老	四	上	合	上	老	合	老
ち					い					ん			
ゆ										ぞ			
										が			
										ふ			

上	尺	工	五	尺	工	工	老	上	尺	工	上
ち ゆ く る				や				ま			
								ふ え ど う			
								ふ			

四	老	尺	合	工	尺	合	乙	尺	合	○	合	老	合	老
				ち	ゆ	る								
								ん	ぞ	が				

上	尺	工	五	尺	工	工	老	上	尺	工	上
ち ゆ く る				や				ま ふ え ど う			

四	老	尺	合	合	尺	工	五	工	尺	上	四	老	尺	合	○
				ち	ゆ										

一、庭や雪降ゆい 梅や花咲ちゆい

※にわや ゆちふゆい

※んみや はなさちゆい

無蔵が懷や 真南風ど吹ちゆる

※んぞが ふちゆくるや

※まふえどう ふちゆる

二、ぬがし我が庭や 梅や咲かなそて

※ぬがし わがにわや

※んみや さかなそてい

毎夜鶯の 通て鳴ちゆが

※めゆ るうぐいしぬ

※かゆてい なちゆが

三、波の上に行ちゆみ薬師堂に行ちゆみ

※なんみんに いちゆみ

※やくしどーに いちゆみ

なりし薬師堂の 裏やましやあらに

※なりし やくしどーの

※うらやましや あらに

四、波の上の開鐘や 首里の開鐘と思て

※なんみんぬ けーじよーや

※すいぬ けーじよーとうむてい

里うくちやらち 我肝やむさ

※さとうう くちやらち

※わちむ やむさ